

# 第7回「減らそう犯罪」県民アンケートの実施結果について

広島県警察本部 生活安全部 生活安全企画課

## 1 調査の概要

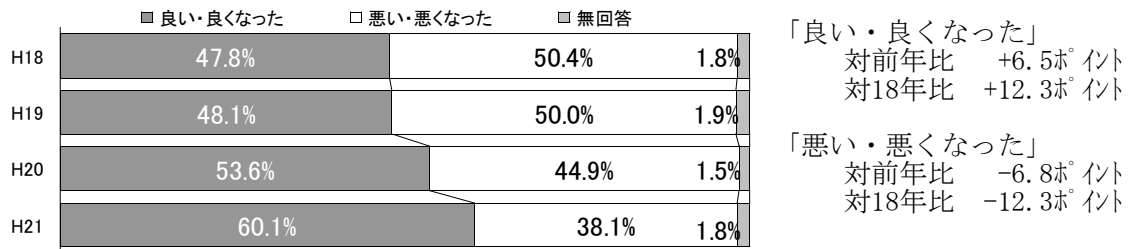
- (1) 調査対象  
 運転免許センター及び各警察署等における免許更新手続き来訪者
- (2) 調査状況

調査期間	有効回答数	男性	女性	不明
6/29(月)～7/10(金)	2,519人	1,254人	1,133人	132人

## 2 集計結果 (抜粋)

### (1) 治安関係

ア 居住地域における治安 (居住地域の治安は、概ね5年前と比べてどうか?)



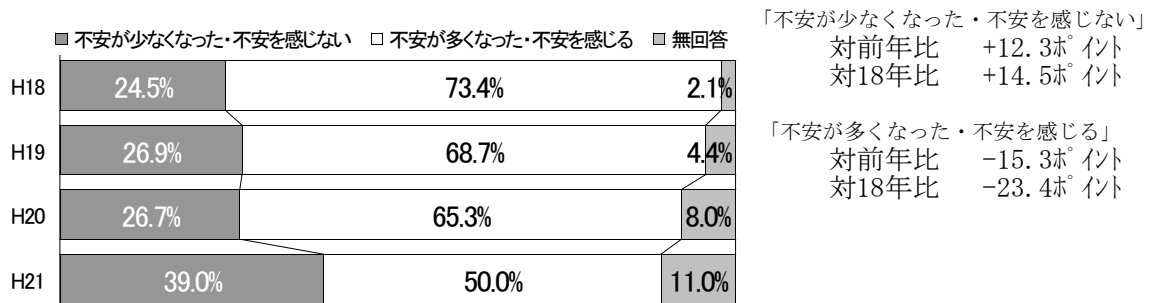
(ア) 治安が良くなった理由 [3つ以内複数回答]

- ① 地域社会の連帯意識が高まった 48.2% (昨年1位)
- ② 犯罪が減少した 22.9% (昨年3位)
- ③ 県民の危機意識が高まった 18.4% (昨年2位)

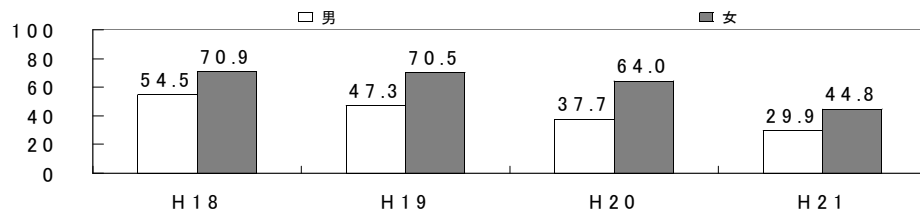
(イ) 治安が悪くなった理由 [3つ以内複数回答]

- ① 地域社会の連帯意識が希薄になった 45.6% (昨年1位)
- ② 様々な情報が氾濫し、容易に手に入る 31.8% (昨年3位)
- ③ 子どもの犯罪被害が増加した 28.5% (昨年2位)

イ 犯罪被害に対する不安感 (この5年間で、犯罪被害への不安感はどうか?)



(ア) 男女別(不安が多くなった・不安を感じると回答した方の割合)



(イ) 犯罪被害に遭うかもしれないと不安を感じる場所 [3つ以内複数回答]

- ① 路上 60.3% (昨年1位)
- ② 繁華街 28.5% (昨年2位)
- ③ インターネット空間 25.6% (昨年3位)

(ウ) 犯罪被害に遭うかもしれないと不安を感じる犯罪 [3つ以内複数回答]

- ① ひったくり, 路上強盗など 17.3% (昨年1位)
- ② 暴行, 傷害などの粗暴な犯罪 11.7% (昨年2位)
- ③ 殺人, 強盗などの凶悪な犯罪 8.6% (昨年3位)

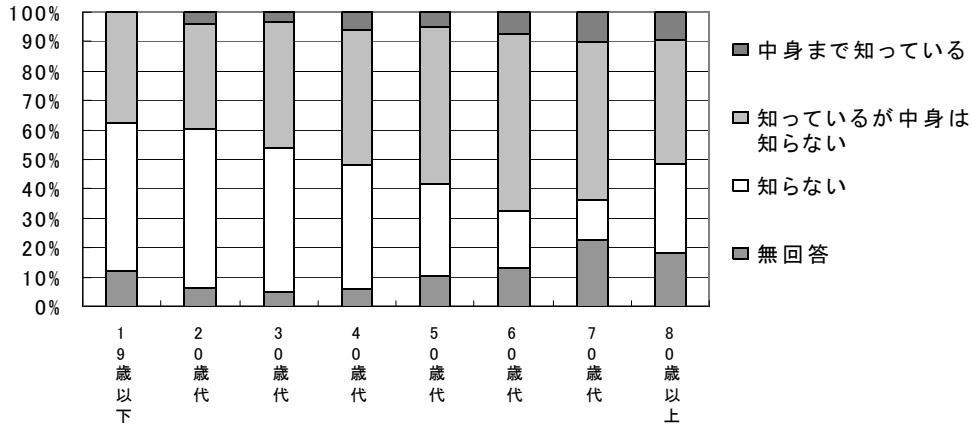
### (2) 減らそう犯罪県民総ぐるみ運動関係

- 運動の展開を知っているか

区 分	H18	H19	H20	H21
知っている	56.6	57.0	52.7	54.7(+2.0)
知らない	39.9	37.9	41.7	35.2(-6.5)

○ 年齢層別

知らないと答えた方が若年層を中心に高率となっている。



(3) 犯罪情報関係

- ア 治安や犯罪情報はどのような方法で入手するか [2つ以内回答]
- ① テレビ・ラジオ 63.7% (昨年1位)
  - ② 新聞(折り込みチラシを含む) 48.8% (昨年2位)
  - ③ 知人・友人からの口コミ 15.3% (昨年3位)
- イ どのような情報の提供を受けたいか [2つ以内回答]
- ① 地域の犯罪発生状況 56.1% (昨年1位)
  - ② ひったくりなどの犯罪手口 22.8% (昨年2位)
  - ③ 事件事故捜査の協力依頼や通報の仕方など 19.7% (昨年3位)

(4) 安全で安心なまちづくり関係

ア 現在の防犯ボランティア活動参加の有無

区 分	H18	H19	H20	H21
参加している	11.7	11.3	10.4	10.9(+0.5)
参加していない	83.3	83.0	83.8	78.5(-5.3)

イ どのような活動に参加しているか

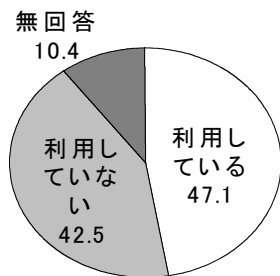
- ① 防犯パトロール 57.0 (昨年1位)
- ② 子どもの保護・誘導を行う活動 46.2 (昨年2位)
- ③ 危険箇所を点検する活動 16.7 (昨年3位)

(5) 警察に対する要望

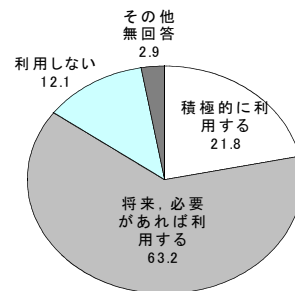
ア 犯罪の取締り以外に希望する活動は何か

区 分	H18	H19	H20	H21
制服警察官によるパトロール	53.6	52.8	53.6	50.1 (-3.5)
身近な犯罪などの情報提供	28.2	29.2	30.3	28.6 (-1.7)
青少年の非行防止	28.7	29.7	27.2	26.4 (-0.8)

イ 自宅でインターネットを利用しているか



ウ 犯罪発生マップや事故マップを掲載すれば利用するか



3 まとめ

居住地における治安が良いとする者は、60.1%と向上しているが、犯罪被害に対する不安感を抱く者は、減少しつつあるものの、依然として、全体の半数を占めている。